

技術・家庭科 《第1学年家庭分野》年間指導計画・評価計画

担当（ 杉森中学校 ）

家庭分野の目標

家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身につけられるようにするとともに、よりよい生活の実現に向けて課題をもって生活をよりよくしようとする能力と生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

題材名	■学習課題○学習活動	時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
家庭分野 ガイダンス	■生活を見つめ、自立しともに 支え合う生活に向かって、家庭 分野の学習に取り組む。 ○小学校の学習を振り返り、中 学校での学習の目的、内容を確 認する。	1	・自分の成長と家族や家庭生活と の関わりについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働 して家庭生活を営む必要がある ことに気付いている。		・3年間の家庭分野の授業で自分が身 につけたいことや、知りたいこと について、課題の解決に主体的に取 組もうとしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト
△家族・家庭生活	1 今の自分とこ れから (p.18~21)	2				行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト
	2 家庭のはたら きと家庭の仕事 (p.22~25) 3 様々な家族・ 家庭 (p.26~37)		■自分の成長と家族や地域の 人々とのかかわりと、自分自身 について理解する。 ○教科書の例を参考にこれま での自分を支えてくれた人を 思い出す。 ■家族・家庭の機能及びそれを 支える仕事や社会のしくみに ついて理解し、家族関係につい て考える。 ○家庭の機能を支える家庭の 仕事を誰が担っているかに気 づき、自分ができていることを考 える。 ○家族関係の様々なつながり を理解し、それぞれの立場につ いて考え、家族関係について考 える。	・家庭には様々な活動があること と、家庭の主な機能について理解 している。 ・自分や家族の生活は、家庭の内 外の活動によって支えられてい ることを理解している。 ・家庭生活を支える活動とそれを 支える社会の仕事やしくみの学 習をとおして、家庭生活と社会の つながりを理解している。	・家族とのかかわりについて解決 策を構想し、実践を評価・改善し たりしている。 ・自分の成長は家族をはじめ、多く の人に支えられ、影響を受けてきた ことについて、課題の解決に主体的 に取り組もうとしている。	

題材名		■学習課題○学習活動	時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
B 衣食住の生活（衣生活）	1 衣服のはたらきと手入れ (p.184~199)	■衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○小学校で学んだ衣服のはたらきをふり返り、いつも着ている衣服について考える。 ○T.P.O とは何か知り、自分らしく着こなす衣服を選択する。	6	・衣服の社会生活上のはたらきについて理解している。		・衣服の社会生活上のはたらきについて、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の社会生活上のはたらきについて工夫し創造し、実践しようとしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト
		■衣服に用いられている繊維の種類と特徴を理解する。 ○布を観察する。 ○繊維の種類と特徴を理解する。		・布が糸で織られていることに気付くとともに、その織り方にはいろいろな種類と特徴があることを理解している。			
		■衣服についた汚れの種類がわかり、適切な手入れについて理解する。 ○衣服の着用で起きる変化や衣服の汚れの種類、程度を調べる。 ○汚れの性質や衣服の材質に合った方法で汚れを落とすことが大切であることを知る。		・衣服につく汚れやしみの種類と性質について理解しているとともに、衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の手入れが適切にできる。	・衣服の材料や状態に応じた手入れについて考え、工夫している。 ・衣服の手入れについて実践を評価したり、改善したりしている。 ・衣服の手入れについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。		
		■取扱い表示の意味を理解し、適切な手入れの方法がわかる。 ○実験を見て汚れを落とすために必要なことを知り、洗濯について知る。		・取扱い表示の意味を理解している。 ・適切な洗濯のしかたと洗剤の使用の方法について理解している。		・日常着の手入れや補修について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・補修実習について工夫し創造し、実践しようとしている。	
		■衣服の素材に合った洗剤とその適切な量について理解し、洗濯機による洗濯ができる。 ○手洗いと機械洗濯の違いについて話し合い、何をどの洗剤で洗ったらよいか考える。 ○汚れの程度や衣服に合わせた洗濯の方法を考え、洗濯を実施する。		・洗濯機の安全で適切な使い方について理解している。 ・洗濯の方法を理解しているとともに、適切にできる。			

題材名		■学習課題○学習活動	時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
		■衣服の状況に応じた手入れのしかたを理解し、適切に行うことができる。 ○衣服を観察し、手入れや、衣服の収納・保管、補修の必要性について考える。			・衣服の状況に応じた手入れのしかたについて問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服を収納・保管する方法について考え、工夫している。		
B 衣食住の生活（衣生活）	3 布を用いた作品で生活を演出 (p.210~225)	■布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ■必要な用具と完成までの流れを理解できる。 ■製作に必要な材料や縫い方、用具の安全な使い方の理解を図り、その技能を身に付けるようにする。 ■製作の基礎・基本の習得に主体的に取り組み、よりよい製作を実践しようとする。 ○製作にあたって必要な知識・技能は何かについて理解し、ミシンの使い方を確認したり、ミシンと手縫いで縫ったものを比較したりして特徴を捉える。 ○補修の実習を行う。	1 1	・ほころび直し、まつり縫い、スナップ付けを理解しているとともに、適切に実践できる。 ・アイロンの使い方について理解しているとともに、適切に設定し、安全に使うことができる。 ・製作するものを決め、デザインを含めた製作計画を立てることについて理解しているとともに製作が適切にできる。 ・ミシンの使い方について理解しているとともに適切に扱うことができる。 ・ミシン縫いや手縫いの特徴を理解している。	・製作計画について問題を見いだして課題を設定している。 ・製作計画について考え、工夫している。 ・製作について実践を評価したり、改善したりしている。 ・製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・製作に関心をもち、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・製作について工夫し創造し、実践しようとしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト 製作物
	2 衣服の選択と着方 (p.200~209)	■資源や環境に配慮した衣服の入手と処分について考え、衣服の計画的な活用について理解する。 ■既製服を選ぶポイントが分かる。 ○衣服の入手について考え、発表し合う。 ○環境に配慮した衣服の活用について学び、既製服のサイズや表示の意味について知る。 ■自分らしい着方を工夫することができる。 ○選択した衣服の理由を考え、カラーコーディネートについて知る。	4	・衣服の計画的な活用の重要性について、理解している。 ・既製服のサイズや表示の種類と意味について理解している。	・T.P.O に応じた着用や個性を生かす着用について問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の着方や選択について実践を評価したり、改善したりしている。 ・衣服の着方や選択についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・資源や環境に配慮し、持続可能な衣生活について工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自分らしい色やデザインを選択しようとしたり、友達の意見を聞いたりと課題解決に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト

題材名		■学習課題○学習活動	時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
		■和服の文化に関心をもち和服の着方を知る。 ○和服について知り、洋服と比較する。		・和服の着方を理解している。		・和服の着装体験について工夫し創造し、実践しようとしている。	
㊦ 衣食住の生活（衣生活）	4 持続可能な衣生活 (p.226~228)	■資源や環境に配慮した衣生活を送るために工夫できることを考える。 ○環境問題や課題解決の現状を把握し、自分の衣生活をふり返って課題を設定する。 ○課題の解決策を構想する。	1		・資源や環境に配慮する視点から問題を見いだして課題を設定し、解決策について考え、工夫している。	・課題の解決に主体的に取り組んだり、生活を工夫し創造し、実践しようとしたりしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト
㊦ 衣食住の生活（住生活）	1 人間にとっての住まい (p.234~235)	■自分ごととして住まいをとらえ、住まいは生活を支えていることを理解する。 ○生活を支える場が住まいであることを知り、各家庭や地域により住まいで行われる活動の違いに気づく。 ○地域や国による住まいの違いを知り、住まいとはどのようなものか考える。	1	・住まいの基本的な役割には、機能的な面と精神的な面があることを理解している。 ・住まいは人々のさまざまな行動を支えていることを理解している。		・住まいを自分ごととしてとらえ、住まいに関しての課題解決に主体的に取り組もうとしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト タブレット課題
	2 生活に必要な住空間 (p.236~239)	■家族の住まい方や空間の使い方を理解する。 ■自身の住まい方の工夫を考える。 ○生活行為によって住まいが3つの空間に分けられることを知り、家族人数や生活行為に合わせた住まいの広さが必要であることを知る。 ○日本の住まいについて考え、住まいのはたらきと心地よさについて意見を交流する。	2	・家族の生活と住空間とのかかわりについて理解している。	・住まいに必要な空間の使い方について問題を見いだして課題を設定している。 ・住まいに必要な空間の使い方について考え、工夫している。 ・住まいに必要な空間の使い方について実践を評価したり、改善したりしている。		

題材名		■学習課題○学習活動	時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
	3 自然とともにある住生活 (p.240~241)	■家族の住まいの希望を生かし、住空間の使い方を考えて工夫することができる。 ○住まいはともに住もう人たちが生活しやすいように工夫されていることを知り、課題に取り組む。	2	・家族がどのような生活を重視するのかによって、住空間の使い方が異なることを理解している。		・家族が心地よく住むための工夫について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族が心地よく住むための工夫について工夫し創造し、実践しようとしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト タブレット課題
		■住まいや住まい方は、気候風土や文化など地域の特性や生活を反映していることを理解する。 ○日本の気候風土に合わせた住まいの特徴や自然とともにある日本の住まいや住まい方を考え、現代の住居に継承していくよさについて考える。		・住まいや住まい方は、気候風土に合わせて、自然のよさを取り入れたりして工夫されていることを理解している。			
衣食住の生活（住生活）	4 安全で健康的な住生活 (p.242~255)	■家庭内事故の種類と、その原因を知り、幼児や高齢者にとっての安全な住まい方を考える。 ○家庭内事故について、事故の発生しやすい場所と安全対策について考える。	4	・家庭内の事故の種類やその要因と対策としての安全管理の方法について理解している。	・安全で健康的な住生活について、問題を見いだして課題を設定している。 ・安全で健康的な住生活について考え、工夫している。 ・安全で健康的な住生活について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・安全で健康的な住生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・安全で健康的な住生活について主体的に取り組もうとしている。 ・安全で健康的な住生活について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	行動観察 ワークシート ワークノート 定期テスト タブレット課題
		■健康に住まうために、室内環境の調節方法を理解する。 ○家族が健康・安全に住まうための対策を考える。		・安全な室内環境の整え方について理解している。			

題材名		■学習課題○学習活動	時間数	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
		■自然災害に備えて、住まいを安全に整備する必要とその方法について理解する。 ○自然災害への備えの工夫や被害を最小限に抑えるための住まいの備えについて考える。 ■地域のさまざまな災害に備えて、わたしたちの防災について考える。 ○災害に備えて、個人や家族、住民組織等の視点で防災について考え、まとめる。		・自然災害に備えて、住まいを安全に整備する必要とその方法について理解している。			
	5 持続可能な住生活 (p.256~258)	■持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。 ○持続可能な住生活のために、課題を見つけ、改善方法を考える。	1		・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	・社会や環境に配慮した住生活について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。	